

3 わたしたち 都城のかわとまちづくり

2015年10月発行

都城かわまちづくりニュースレター

① 会の名前は「みやこんじよかわまち会議」に決定！



平岡先生



文字通り、議論の輪が広がってしまいました

すっかり秋らしくなった10月1日。第3回目の「都城かわまちづくり実行委員会(仮称)」を、都城市役所で開催しました。この日は「都城かわまちづくり検討会」の委員長、南九州大学の平岡先生も駆けつけて下さいました。

会議に入る前に、緊張をほぐし、活発に意見が出される会議になるよう、アイスブレイクを行いました。近くにいる誰でもよいので、挨拶を交わして握手をし、自己紹介をする。5分間で、できるだけたくさんの人と会話をするのがミソです。

雰囲気や和やかになったところで、議論を開始。これまで出た利活用のメニューを「どこで」やりたいか、今のメニューに足りないものはないか、意見を出し合いました。さらに、来月は、利活用のお試しとして川の駅で実際に散策やバーベキュー等をやってみることに！

会の名称と委員長も決まり、都城のかわまちづくりは着実に進化中です。



委員長は甲斐元自治公民館館長の坂元様に決定！

② 拝見! あなたの町のかわまちづくり

宮崎県延岡市では、五ヶ瀬川らしさを活かしたまちづくりを推進するため、平成24年10月に「五ヶ瀬川 かわまちづくり検討会」を、翌年には、計画の実践組織として「天下一ヶ瀬かわまち創ろう会」を立ち上げました。会の名称からもわかるハナイキの荒さで、「豊堤プロジェクト」、「まちなかカヌーツーリング」、「お父さん、お母さんのための川遊び村」等、五ヶ瀬川を遊びつくす勢いで色々なプランを実現してきましたが、イベント前の清掃や草刈りもキッチリこなす、マサも兼ね備えた活動を展開しています。



イベント、がっつり



草刈り、きっちり

●発言しなくても、全員が意見を出せるのだ
かわまちづくりでは、なるべくたくさんさんの地元の人の意見を計画に反映させる必要があります。しかし、知らない人が集まった会議で、意見を発表するのはなかなか難しいもの。
そこで、かわまちづくりの会議では、その日の議題に対する自分の意見を、大きなフセン紙に書いて張り出す「KJ法」を進めています。
これなら、全員の意見が全員に見えますし、地図に貼っていけば、要望の多い場所や意見がよくわかります。ひとつしかなくても面白そうアイデアが、埋もれてしまうこともありません。
会議が進むにつれ、どんどん人がテーブルを囲んでいった理由がこれでおわかりでしょうか？

空気を読まなくても大丈夫なKJ法



この「かわまちづくり」の取り組みや、地域を活性化する活動等にご興味のある方は、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡下さい。

また、11月中には、議論している川の駅とその周辺の利活用について、その場所を委員のみなさんが実際に使ってみる予定となっております。

今後の予定

今後の予定としては、10月下旬から11月上旬にかけて、第4回のみやこんじよかわまち会議を行う予定です。



このようにフセンでビシバシ意見を出します